

第9回日本フォレンジック看護学会学術集会

ご参加への御礼

2022年11月吉日

美しく色づき始めた紅葉に、秋の深まりを感じる季節となりました。皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

9月に開催し、10月末までオンデマンド配信しました第9回日本フォレンジック看護学会学術集会は、皆様のご理解とご協力を得て、無事に閉会することができました。

「性暴力被害の訴えに応えられる社会へ」をテーマとして、現場で活動されている実践家の皆様をお招きしての大会は、参加者の方々に、インパクトがありとても学びになったと嬉しいお声がけをいただきました。また、全国各地から会場にいらしていただいた皆様には、交流の機会を得られたことへの感謝や、共感的で優しい雰囲気の学会だったとの言葉をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の情勢が不明な中、事務局・実行委員会共に大会の成功のために尽力してまいりましたので、学会の長所を共有できたことは何よりの喜びとなりました。オンライン、オンデマンド配信を含め270名の方々にご参加いただき、学習の場を広げられ学びを分かち合えたことは、皆様のご支援あつてのことと深く感謝しております。今後とも、本学会へのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご多幸を祈念して、御礼のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人日本フォレンジック看護学会

第9回学術集会 大会長 山本 潤



現地会場 東京有明医療大学